



未来への一步

～Let's create the future together～

第096号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>

FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第2学年外部講師による清掃講座

7月2日(水)と3日(木)の2日間、清掃講座が実施されました。姫路市の清掃会社 錦メンテナンス株式会社様より講師をお招きし、清掃の4つの目的や仕事としての清掃、仕事をする上で大切なことについて講義を受けました。その後は、班に分かれてダスタークロスやフラットモップの使い方、トイレ清掃の仕方について、実技を通して一人ひとり丁寧に教えていただきました。各自が大切だと思ったことをメモにとるように伝えていると、真剣な表情でメモをとる生徒が多く見られました。講座の最後には、部門ごとに特に上手にできた人には「ぴかぴか賞」頑張った人には「きらきら賞」が授与され、自分が選ばれたことに驚きながらも皆、とても嬉しそうでした。生徒たちは、衛生面での環境整備に必要な基礎を学ぶことができました。これからの生活や将来の仕事に活かしてほしいと思います。



第1学年就業技術科職場見学

7月3日(木)、2つの企業様【姫路市のNSハートフルサービス瀬戸内株式会社様とイオンリテール株式会社イオン姫路大津店様】にご協力いただき、1年生就業技術科生徒が職場見学に行きました。

NSハートフルサービス瀬戸内株式会社では、業務内容の説明と施設内の清掃やごみ回収作業の様子を見学しました。本校の卒業生が5年以上勤務しており、「仕事をしていてうれしいことは、感謝の言葉をいわれること」「好きな時間は、昼休みに仲間と楽しく過ごすこと」など、色々な視点から仕事のやりがいについて教えていただきました。

イオンリテール株式会社イオン姫路大津店では、バックヤードやサービスカウンター、リサイクルコーナーについて丁寧に説明をして下さりました。生徒からの質問に対しては、わかりやすいお言葉で返答して下さい、生徒たちもメモを取りながら熱心に聞いていました。

今回の職場見学は、職業自立を目指す生徒たちにとって、就労に対する意欲や意識を高める良い機会となりました。



第2学年野外活動～羅漢の里～

7月4日(金)、相生市にある「羅漢の里」に行きました。かなりの晴天で暑かったですが、山の中の日陰は涼しく、まずは記念撮影。その後、各班に分かれて火起こしと炭に火を移します。今年は、就業技術科・普通科・総合ビジネス科ミックスの班編成で実施しました。2年目とあって、去年は苦戦したファイヤースターターでの火起こしもお互いに声を掛け合い、助け合ってスムーズにできました。赤くなった炭で、肉や焼き鳥、野菜などを焼く時は、みんなでワイワイと盛り上がり、味も格別でした。紙パックでお湯を沸かし、災害時非常食のアルファ化米(ドライカレーや五目ご飯)の試食もしました。後片付けを協力して済ませた後は、お楽しみのレクリエーション。水遊び、キャッチボール、散歩などのグループに分かれて、それぞれの時間を楽しみました。



土砂災害避難訓練

6月24日(火)、教育棟において土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。たつの市に暴風・大雨により、土砂災害警戒レベル3が発令され、垂直避難のため寄宿舎2階の各棟へ避難するという内容でした。昨年度も同様の訓練を行ったのですが、今回は昨年の所要時間を1分以上も短縮して、避難することができました。早いことだけが良いわけではありませんが、緊張感を持って迅速に避難できていたと感じました。

台風のシーズンになり、各地で災害も予想されます。これを機にご家庭で「災害持ち出しバッグ」の中身を話し合われることもおすすめします。『備えあれば、憂いなし』、訓練に終わらず、災害は実際に起こるものとして考えていく意識付けになりました。

交流校の文化祭に参加

～生徒会役員～

今年度も龍野高校・山崎高校より文化祭のご招待をいただき、生徒会メンバーが参加してきました。最初は緊張の方が大きく肩に力が入っていたように見えたのですが、徐々に緊張が取れていきました。学校代表としての挨拶では、大きな声でゆっくりと堂々と挨拶することができました。龍野高校では、誘導ガイドの生徒と話をしながら展示や模擬店を回ることができ、自然と会話も増え同世代との会話を楽しみました。山崎高校では、E S S同好会のブースに参加させていただいた時には、英語でのクイズに挑戦しました。聞いたことのない単語に苦戦しましたが、副部長からヒントをもらって全問正解することができました。両校ともに活気ある文化祭で、主役である生徒自身が思いっきり楽しんでいる様子を見て、来年度実施予定の本校文化祭に向け、気持ちを高めるものとなりました。